



芭蕉誌

琉球大学同窓会関東支部会報誌

第14号

2014年10月発行



第20回 関東支部総会・懇親会(2013年10月)

第21回総会・懇親会(2014年10月)のお知らせ

日時:2014年10月18日(土) 12:00～15:00

場所:日本教育会館(9F)喜山倶楽部 千代田区一ツ橋2-6-2

会費 4,000円

お気軽にご参加ください。

懐かしい、そして楽しい出会いがあります。

※ご不明の点は事務局へメールまたはお電話でご照会ください

目 次

- P 1 …… 表紙 第 21 回総会・懇親会のお知らせ
- P 2 …… 目次
- P 3 …… 支部長（初等教育学科 1962 年入学）挨拶
- P 4 …… 学長（経済学科 1970 年入学）ご挨拶
- P 5 …… 同窓会会長（保健体育学科 1962 年入学）ご挨拶
- P 6-7 …… 第 20 回（2013 年）総会・懇親会のご報告
- P 8 …… 同窓生便り 仲宗根南子（総合社会システム学科 1999 入学）
- P 9 …… 同窓生便り 島洋子（社会学科 1986 年入学）
- P10-11 …… 同窓生便り 宮城重哲（法政学科 1972 年入学）
- P12 …… 同窓生便り 蔵下要（医学科 1983 年入学）
- P13 …… トピック：医学科同窓会
トピック：幸喜同窓会会長受勲
トピック：琉大ホームカミングデイ
- P14 …… クラブ・サークルの思い出：草野球同好会「うちなあメッツ」
- P15 …… 決算報告・予算案・役員名簿・活動方針
- P16 …… 事務局からのお願い・後付



ゴク ゴク ゴク ゴク ゴク ゴク
ゴク ゴク ゴク ゴク ゴク
ゴク ゴク ゴク ゴク
クロビール

ブラックエール
容量 350ml
アルコール分 5%

沖縄の地ビールのうまさ、黒でも実現。

南都酒造所

お酒は20歳をすぎから 飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

遠く離れ暮らしても忘れぬ
生まれ島、沖縄♪

いよいよオキナワスタッフ事業部が オープンになりました♪

沖縄出身者の転職応援、派遣の紹介をします。
代表は人材業界30年で沖縄の東風平出身の新垣進でございます。皆さんの周りの子供、親戚、友人に勧めたい仕事が一杯。営業職・販売・事務職など高収入の仕事も一杯



株式会社
オールビジネスリンク
代表取締役 **新垣 進**

関東沖縄経営者協会 副会長
東京沖縄県人会 理事

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-3 内神田STビル5F
TEL: 03-3251-6315 FAX: 03-3251-0305 携帯 090-8476-4426
E-mail: shingaki@all-biz-link.co.jp

●流大出身ではありませんが渡久山長輝さん、高山厚子さん、
宮城重哲さんと親交あり。



琉球大学同窓会関東支部長 高山厚子

1966年 琉球大学教育学部初等教育学科卒業
1966年 東京富士貿易(株)通訳兼社長秘書
2013年 東京の小学校教諭・教頭・校長を歴任し、退職
2018年 練馬区教育委員会不登校対策室
2020年 三鷹市教育委員会就学相談員

現在、沖縄料理研究家として全国を飛び回る

著書:「緑のカーテンの恵みを食べよう」「緑のカーテン大百科(料理部門)」他

同窓の皆様には、お元気で、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の関東支部同窓会は、総勢70名余の参加者が全国から集い、大いに賑わいました。盛会となった大きな要因のひとつは、機械工学科の皆さんのご高配で、2年に一度開催している同科の同窓会を関東支部の同窓会に合流していただいたことです。また、当支部の中島信一郎副会長が、琉大草野球同好会「メッツ」の仲間の皆さんを全国各地から集めていただいたことも大きな応援になりました。

恒例となっています仲本光正氏率いる「クイチャパラダイス」の琉球舞踊や機械工学科出身のテノール歌手・本村陽一氏の歌曲に加え、多くの参加者のパフォーマンスやスピーチがあり、「これぞ、同窓の良さかな」と、私もあらためてお一人お一人のご活躍ぶりに感動した次第です。今年の同窓会にはどんな出会いがあるのでしょうか。

さて、同窓会関東支部には今年度もまた新しい風が流れています。その一つは、医学部同窓会との連携です。蔵下要医学科本部同窓会長(P.12ご参照)のご尽力により、玉元弘次医学科東日本支部長が今回の関東支部同窓会からご参加いただくことになりま

した。全国で活躍する医学科出身の方々とのつながりは本支部を更に力強く後押しすることでしょう。二つ目は、関東にある様々な沖縄関係の団体、例えば沖縄県人会(渡久山長輝会長は当支部の前支部長)や関東沖縄経営社協会(仲松健雄会長/P.16ご参照)との連携です。特に後者には沖縄出身者以外の参画も多いのです。

更に、これまで同様、より多くの企業の方々へ協力の輪を広げながら、本同窓会の発展と親睦へつなげたいと考えています。ご協賛広告や名刺広告を賜りました皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。

最後になりましたが、長らく事務局長として当支部の発展にご尽力いただいた宮城重哲氏が、母校琉球大学に大手製薬会社を巻き込んで再生医療プロジェクトを進めることになり、事務局長を辞任することになりました(P.10～11ご参照)。母校と沖縄の発展に貢献する姿に改めて感謝と敬意を表し、大いなるエールをお送りしたいと思います。

今後は、「10月第3土曜日は、琉球大学関東支部同窓会の日」ということで恒例化したいと思います。一人でも多くの会員の皆様にお目にかかることを楽しみにお待ちしております



1960年代の琉大女子(高山支部長所蔵のアルバムより)



1960年代の琉大男子(高山支部長所蔵のアルバムより)



第16代琉球大学学長 大城 肇

1951年6月23日鳩間島生まれ
1974年 琉球大学法文学部経済学科卒業
1977年 広島大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)
2004年 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長
2005年 琉球大学学長補佐
2008年 琉球大学副学長
2009年 琉球大学理事・副学長
2013年 琉球大学学長

琉球大学同窓会関東支部の皆様にはお変わりなくご活躍のことと存じます。早いもので、学長に就任して2年目が終わろうとしています。折しも大学改革が叫ばれており、本学も創立百周年を見据えて変革すべく、日夜、奮闘しておりますが、成果はなかなか出てきません。

大学の果たすべき機能として、教育と研究に社会貢献が加わりました。昨年一年間は、地域との連携を強化すべく奔走しました。その具体として、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に本学の「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」事業が採択されました。この事業を効果的に推進するために、那覇市、宮古島市、石垣市にサテライトキャンパスを設置し、学び直しの充実強化を図ることとしています。特に、宮古・八重山などの島嶼部においては高等教育機関がありませんので、本学のサテライトキャンパスを通して、大学を身近に知ってもらいたいと思っております。

地域連携・地域貢献のしかけとして、自治体や民間企業等の間で包括連携協定を締結して、組織的な繋がりの強化をしています。締結相手を順不同で列記しますと、中城村、西原町、読谷村、奄美群島広

域事務組合、沖縄県産業振興公社、日本立地センター、沖縄銀行、琉球銀行、コザ信用金庫です。県内唯一の総合大学である本学の多様な大学資源を組み合わせて、地域貢献をしていくつもりです。

2年目の今年度は、海外との連携を進める年と位置づけて、さまざまな取り組みを展開しています。6月に環境省と共催で国際会議を開催し、沖縄科学技術大学院大学と南太平洋大学(フィジー)と一緒に、沖縄を拠点とする島嶼国研究者によるネットワークを設立することにしました。

また、8月にペルーとブラジルの大学を訪問し、私の構想である環太平洋大学コンソーシアムへ向けて第一歩を踏み出しました。その構想は、「東アジア・太平洋地域・南北アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド」の主要な大学と連携して、研究者交流や学生交流を推進するとともに、それぞれの地域への地域貢献・国際貢献を行う構想です。

任期が終わる2年後には、生まれ変わった琉球大学をご覧いただけるよう、日々、邁進していきます。同窓会の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



龍潭池より望むキャンパスビル群
(1960年代：高山支部長所蔵のアルバムより)

琉大逍遙歌

新川 豊 作詞
渡久地 政一 作曲

一 一ふるき都にさすらいて
世紀の後を尋ねれば
ああ青春の血はさえて
羽ばたく希望の力あり

二 友の情に酔いふして
南十字と語らえば
降る星影に悠久の
真理の光 萌むなり

三 われら若人純情に
巷の恋はうそぶけど
見よ東雲に翔りゆく
亘る生命 息吹あり

琉球大学同窓会創立60周年を迎えて

同窓会会長ご挨拶



琉球大学同窓会会長 幸喜徳子

1966年 琉球大学教育学部保健体育学科卒

1966年 県立豊見城高等学校教諭

1967年 日本航空(株) 国際線スチュワーデス

1977年 沖縄石油ガス(株) 取締役常務

1994年 沖縄県国際交流財団 専務理事

2008年 沖縄石油ガス(株) 代表取締役社長

現在、日本簡易ガス協会沖縄支部理事、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県等の各種委員を務める

秋風が心地よい季節、琉球大学同窓会関東支部の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃、皆様には琉球大学同窓会活動に特段のご協力を賜り心より御礼申し上げます。

当会関東支部ではますます充実した活動をされているご様子、特に学部同窓会とタイアップした総会の開催は素晴らしいアイデアだと皆様のご努力に感謝致します。懇親会では参加者各人のスピーチ、恒例のクイチャーパラダイスによる琉球芸能、歌曲のご披露等もあり、多くの会員のご協力でそれぞれが楽しめる内容になっていることも関東支部の魅力です。

ところで今年は琉大同窓会創立60周年の節目にあたり、様々な記念行事を計画しております。すでに実行委員会において着々と準備を進めており、記念式典、琉球芸能・西洋音楽・詩吟等を網羅した芸術祭や資金造成ゴルフコンペ等各部会を設け、役職員一同緊張感を持って取り組んでおります。

平成26年7月に開催された本部の定期総会では役員改選があり不肖、私が3期目の会長を仰せつかりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

総会後に琉大病院長、国吉幸男教授をお迎えし「沖縄県の医療の進歩、特に心臓血管外科領域」をテーマに講演会を開催、好評の中に終えることができました。心臓手術のスライドをふんだんに使い、医学生でなければ視聴できないような内容に聴衆は熱心に聞き入っておりました。地元誌、「沖縄グラフ」にもその様子が写真入りで掲載され有難いことでした。引き続き懇親会では多くの同窓生らと共に有意義な集いが持てました。

今回の総会で特筆すべきは、かねてより懸案事項であった八重山支部の活動再開をご報告できたことです。宜野座安雄新支部長が総会にご出席下さり、7支部長全員ご参加の下、総会が開催でき感無量でした。60周年の年にふさわしい定期総会となり、今後の記念行事に弾みがつくものと喜んでおります。

関東支部の皆様にも沖縄へおいでの際、各記念行事にご参加賜りましたらまことに幸いです。結びに貴関東支部の限りないご発展と併せて皆様のますますのご活躍、ご健勝を祈念申し上げ挨拶と致します。

2014年8月27日



左に体育館、右に男子寮、正面にキャンパス
(1958年頃の風景：琉球大学広報部提供)



「琉球郵便」の切手(高山支部長コレクションより)

第20回(2013年)総会・懇親会のご報告

日時: 2013年10月19日(土) 総会・懇親会 16:00 ~ 19:30

場所: 日本教育会館 9階 喜山倶楽部 参加者: 70余名

第20回総会は、2013年10月19日に大城肇学長や同窓会本部幸喜徳子会長にご出席を頂き、日本教育会館で開催いたしました。高山支部長と大城学長のご挨拶に続き、活動報告や会計報告、新役員の紹介・承認などの総会決議が滞りなく行われました。

総会終了後は懇親会に移りましたが、今回は機械工学科の方々や琉大草野球同好会「うちなあメッツ」

のOBに多数ご参加いただき、例年以上の盛会となりました。恒例の、仲本光正氏率いるクイチャーパラダイスによる琉球舞踊や機械工学科出身のテノール歌手・本村陽一氏のオペラ独唱が披露された後、参加された同窓の方々のショートスピーチが続き、楽しいひと時を過ごしました。



① 総会で挨拶する高山支部長



② 総会で挨拶する大城学長



③ 総会で会計監査報告を行う朝倉氏



④ 懇親会のVIP 6人



⑤ 幸喜同窓会会長を囲んで



⑥ 懇親会で宮城事務局長



⑦ 機械工学科同窓会会長の河田氏



⑧ 大城学長、幸喜会長、中島副支部長、高山支部長



⑨ クイチャーパラダイスの琉球舞踊

東京沖縄県人会

会長 **渡久山 長輝**

(S 35 年物理学科卒)

東京都中央区八重洲 2-11-2 城辺橋ビル2階

関東沖縄経営者協会名誉会長
美ら島沖縄大使

(株)日本アドバンス 代表

重田 辰弥

(1959 年 法政学科入学)

東京都港区芝 5-13-11 第2二葉ビル



⑩木村氏のオペラ歌曲



⑪懇親会風景



⑫懇親会ではほぼ全員がスピーチ



⑬懇親会風景



⑭懇親会風景



⑮懇親会風景



⑯余興に拍手と喝采



⑰名司会の長谷川さん



⑱機械工学科の集合写真



⑲機械工学科の総会



⑳機械工学科の総会

一般社団法人『おきなわ食と健康のアイランド』

理事長 **高山 厚子**
(初等教育学科 S41 年卒)
沖縄料理研究家

メール: takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
ブログ: 「空飛ぶあっちゃん」発信中

株式会社三洋堂ホールディングス
代表取締役 最高執行役員 CEO 社長

加藤 和裕
(史学科 1983 年卒)

〒467-0856 名古屋市瑞穂区新開町 18-22
Tel:052-871-3434 Fax:052-871-3470
<http://www.sanyodo.co.jp>



沖縄県 球陽高等学校卒業
1999年 法文学部総合社会システム学科入学
2009年 琉球大学法科大学院卒業
2013年 司法試験合格
2014年 中島弁護士事務所入所予定

弁護士0年生

琉球大学同窓会関東支部の皆様はじめまして。沖縄県沖縄市出身の仲宗根南子と申します。現在は、司法修習中でありまして、2015年春より中島信一郎法律事務所での弁護士として勤務することが内定しております。

大学生活はといいますと、私は大学在学中にカナダに語学留学することが夢でしたので、資金調達のためという名目でバイトに明け暮れていました。そういう訳で、学生生活の記憶は薄いですが・・・。

念願のカナダ留学中に外国人の弁護士と出会ったことで、その方の明るいキャラクターも相俟ってなのか、次第に弁護士という職業に興味を持つようになりました。そこで、琉球大学法科大学院に入学し、先ほど申し上げましたように大学での勉強を怠っていただけだったので、そのツケを挽回すべく人生で最も勉強しました。起床してから就寝するまで勉強していました。とはいっても、同じ目標を持った仲間と一緒に切磋琢磨していたので、つらいと思ったり止めたいと思った事はありませんでした。受験勉強を通して、目的を明確に設定すること、目的達成のため

に自分に欠けているものが何なのかを知ること、その克服方法を考える実践することの重要性を学びました。この収穫物を糧の一つにして、弁護士としての技量を磨いていきたいと考えています。

弁護士としての目標は、様々な人や職業に接しこれまでの限られた視野や知識の幅を広げて、できるだけ多くの依頼に的確に応えることができるようになることです。その中で得意な英語を活かしていきたいとも思っています。また、私は、東京で暮らすのが初めてなのですが、周りの修習生から、沖縄独特のゆっくりしたペースを心配されています。一方で、物事は多面的で、慌しい東京ではゆっくりした雰囲気であることが貴重となることもあるとも言ってもらえました。今は、東京のペースを身につけるとともに、これまで培ってきた沖縄のペースも大事にした弁護士を目指していきたいと考えています。

最後に、中島信一郎法律事務所を紹介して下さったのが沖縄県出身の琉大法科大学院の先生ということもあって、出身大学のつながりの大切さを実感しております。ですので、琉大ご出身の、社会でご活躍されている先輩方と親交を深める機会に参加させていただけることに心より感謝申し上げます。



代表 名嘉 盛光 (体育学科1970年入学)

産婦人科医・作家
太田 靖之
(理学部海洋学科 79生)

<http://www.justmystage.com/home/yota/sub2.html>



沖縄県 コザ高等学校卒業

1986年 法文学部社会学科入学

琉大卒業後、琉球新報社に入社。社会部、中部報道部、経済部、政治部などを経て現在は琉球新報社東京報道部長。

共著に「ひずみの構造—基地と沖縄経済」（琉球新報社刊）

沖縄のメディアの人間として

はじめまして。琉球新報東京報道部の島と申します。生まれも育ちも沖縄で、一生よその土地で暮らすことはなかろうと思っていましたが、東京支社に勤務することになりました。この1年半、本土で活躍する多くの先輩方と出会い、刺激的な日々を送っています。

琉球新報は東京報道部に記者を3人置いています。主に防衛省、外務省、内閣府沖縄担当部局（旧沖縄開発庁）の取材と、本土の沖縄人の活躍ぶりや経済、文化など沖縄関係の動きを追っています。

米軍普天間飛行場の返還・移設問題をきっかけに本土メディアでも沖縄に関する報道がなされるようになりました。しかし、在京メディアが十分に沖縄報道をしているとは思えません。もちろん、本土と、遠く離れた沖縄では関心事や生活情報は異なるでしょう。しかし、かつて言われた「温度差」という言葉では物足りないほどの距離を感じるのは私だけでしょうか。

東京で多くの政治家、官僚、記者仲間と言われて一番隔たりを感じるのは「沖縄は基地で食っているのしょう」という誤解です。基地があるゆえに経済的に潤い、国からもたくさん予算をもらっているんだろう—という意味です。その背後で「金をもらっているんだから多少の基地負担は我慢しないと」という本音を感じます。

福島県原発汚染土の中間貯蔵施設をめぐり、「最後は金目でしょ」と言った石原環境大臣の視点とも通じるものがあります。

そういう人に対し私は「では沖縄の県民総所得の中で基地収入が何%を占めるかご存じですか」と問います。多くの人が3割とか5割とか答えます。が、正解は「5%」なのです。5%が小さいとは言いませんが、「それで食っている」と言われるほど大きな比重でしょうか。

政府からたくさん予算をもらっているというのも誤りです。国から地方に下りる補助金や交付金などの「財政移転」は、県民一人当たり47都道府県中10位です（2011年度）。財政移転で全国一になったことは復帰後一度もありません。

琉大で、大田昌秀先生からは多くの資料に当たって物事を見ることを教えられました。宮城悦二郎先生は学生が「高等教育機関がなかった沖縄に、戦後は米軍が主導して琉大ができた。米軍施政権下も悪いことばかりじゃないのではないかと質問したことに対し、「米軍は琉大をつくるために沖縄に来たのではないよ」と喝破なされた。

素晴らしい恩師に育てられながら、まだまだ未熟ではあるのですが、沖縄のメディアの人間として、沖縄の事物をより多く発信していきたいと思っています。



時代とともに
変化する
琉球新報社



琉球新報社

東京支社長

新垣 邦雄

ARAKAKI KUNIO

東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-9-6
陽光銀座三原ビル3階
TEL.03-6264-0981 FAX.03-6264-0982

本 社 〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
TEL.098-865-5111(代)



沖縄県久米島町出身、久米島高等学校卒業

1972年 法文学部法政学科入学

卒業後、近鉄都ホテルチェーンに入社。全日空ホテルズに移り、香港営業所長などを歴任後、1996年に独立。(株)アロマコンサルティングを創業し、ビジネスマッチングなどのコンサルティング業をメインに事業展開してきた。現在は、同社が琉球ステムセル(株)(ロート製薬の子会社)から業務委託契約を受けた再生医療コーディネーターとして奔走している。琉球大学医学部を中核として沖縄県や内閣府沖縄総合事務局、県医師会、公立・民間病院などと共に沖縄県再生医療プロジェクトを推進中。

私が入学した1972年は、沖縄県が本土復帰し、琉球大学が国立大学になった年でもある。とにかく学費が安かった記憶がある。半期で5000円弱、4年間で4万円以下であった。今から振り返ると隔世の感があるが、当時としても殆どタダみたいな学費のお蔭で家計も助かり、第二人の高校生活の面倒も見ることが出来た。

卒業後沖縄都ホテル(首里)に入社し、入社直後にサンフランシスコ都ホテルに転属志願を出したが断られた。以後英語をブラッシュアップしながらチャンスを待った。結果、全日空ホテルズに転職することにより海外勤務の夢を実現することが出来た。同社では香港営業所長としてアジアオセアニア地区をメインに10数か国へ海外営業の腕を振るった。34歳から41歳までの懐かしい青春の1ページである。

ホテル業界20年勤務を機にサラリーマン生活にピリオドを打ち、第二の夢であった独立を実現した。しかしこの独立から後が苦難の連続であった。アロマ関連事業からIT事業、健康関連事業と多くの分野に着手したが成功には程遠いものばかりであった。友人の勧めでビジネスマッチングをスタートしたのが大きな事業展開へのきっかけとなった。その

延長線に、今回、沖縄県の再生医療プロジェクトにロート製薬側の再生医療コーディネーターとして参画するというチャンスが訪れた。

私が同窓会関東支部と関わるようになったのはかれこれ10数年以上にもなるが、個人的に大きな財産を得た気がする。その最も大きな点は、素晴らしい方々との出会いである。特に、会報誌の作成のために様々な業界で活躍する多くの同窓生に行ったインタビューは、胸弾ませ心躍る出来事であった。海洋学科からサラリーマンその後医師から作家と活躍している太田靖之氏、琉球舞踊や三味線で四千人以上の会員を持ち国内海外で活躍するクイチャパラダイス主宰者仲本光正氏、国会議員として活躍した瑞慶覧長敏氏、立ち上げた企業を上場させた同窓の稼ぎ頭加藤和裕氏、関東沖縄経営協の会長(現名誉会長)の重田辰弥氏、『芭蕉誌』に毎号海外からの紀行文を寄越して頂いた中島政彦氏、健康長寿問題で頑張る栗盛須雅子さん、東大教授に就任した上床美也氏、外資大手製薬メーカー勤務の知名定則氏など、枚挙にいとまがない。この方々との出会いは、結果としてビジネスにも大いに役立った。文字通り私の人財である。



幸地 司 (数学科1990年卒)

アイコーチ株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑3丁目14-11

緑町塚本ビル5階

TEL: 03-3846-8598

FAX: 03-6659-6369

info@ai-coach.com

NIC社会保険労務士事務所 所長

ノーブル・インクルージョン(株)

特定社会保険労務士

キャリア・デベロップメント・アドバイザー

永田 幸江

(H7年・法政学科卒)

〒115-0045 東京都北区赤羽1-62-12-304

TEL: 03-5939-6178 FAX: 03-5939-6187

Mobile: 070-6519-8472 E-mail: info2@office-nagata.com

ところで、再生医療は最近とみにメディアで取り上げられるようになり、医療関係者のみならず多くの方々に興味を持たれているようである。先日、琉大医学部との打ち合わせ際、その関係者が語った言葉が今も鮮明に記憶に残っている。曰く、「過去のノーベル賞級の発明や発見は20～30年後に世界的な産業となったものが多い。i P S細胞はこれまでの医療業界の常識を変えるものである」。このお蔭で、何十年振りに薬事法まで改正となり、再生医療はアベノミクスとして国家戦略で動き始めた。

沖縄県は長寿県復活や医療費削減、東南アジアへの物流拠点としての観点からこの新しいプロジェクトを推進することになり、ロート製薬は子会社（琉球ステムセル社）を立ち上げそのサポートを始めた。そして琉大医学部の敷地内に「ロート再生医療研究センター」（写真参照）を建設し、再生医療の研究開発の拠点とする意向である。さらに、琉大医学部はこの再生医療プロジェクトを展開するために「再生医学講座」を開設し、全国公募で採用された新任教授もこの8月に着任した。

再生医療に使われる幹細胞は、前述のi P S細胞やE S細胞（受精卵利用）、骨髄幹細胞など色々あるが、今回ロート製薬と琉球大学医学部の共同研究として使われるのは、お腹の脂肪から採取された幹細胞で、安全性と採取しやすい点では大いに優位性がある。この幹細胞を諸々の疾病ごとに効果効能を検証し、もって創薬に繋げたいとの壮大なプロジェクトである。メイドイン沖縄の長寿家系のDNAを持つ幹細胞が、治療薬として国内海外に供給される日もそんなに遠くはない。この再生医療プロジェクト



は、沖縄県に最先端医療技術を取り入れた新しい医療産業を創出すると共に、我が母校の琉球大学医学部が国内のみならず世界に向かって誇れる医療イノベーションを期待させるものである。

同窓会として産学官の事業をサポートしたいと言いつけてきたが、自らこの様なプロジェクトに携わろうとは夢にも思っていなかった。しかしこれも何かの縁であろう。思い切って33年ぶりに故郷沖縄に拠点を移し、再生医療コーディネーターとして本格的に活動することにした。幸いなことにこれまでの同窓会活動がこのプロジェクトでは大いに役立っているが、今後は医学部医学科同窓会の協力も期待したい。

ロート製薬は再生医療のみならず、沖縄で農業の研究開発にも力を入れている。T P Pで先行き不透明なサトウキビだけに頼ることなく付加価値の高い農作物の発掘、新商品の開発は沖縄県にとっても願ったり叶ったりである。我々の世代でこの様なプロジェクトに関われることは、まさに千載一遇のチャンスであり、この機会をぜひ生かしたい。

心残りではあるが、今後の関東支部の同窓会活動は、高山支部長はじめ先輩や後輩諸氏にお願いし、今後は沖縄からもできる限りの応援をしたい。これまでのご支援に感謝すると共に、関東支部の益々の発展を心から祈念したい！



東京支社

支社長 比嘉 敏幸
Higa Toshiyuki

沖縄タイムス社

支社 〒104-0061 中央区銀座2-4-1（銀座ビル内）
Tel.03-3535-3486 Fax.03-3535-3485

本社 〒900-8678 沖縄県那覇市久茂地2-2-2 Tel.098-860-3000



(株)アロマコンサルティング

代表取締役 宮城 重哲
Miyagi Shigenori

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-15-37-10304

TEL: 070-6454-3281 http://www.seepa.jp/u/aroma/shigenori_miyagi@yahoo.co.jp



沖縄県立 首里高等学校卒
1983年 医学部医学科入学
1989年 卒業(37期／医学部3期)
1994年 琉球大学医学研究科博士課程修了
1993年の医学部医学科同窓会設立時から副会長を永く務め、2013年7月より同窓会長。
現職：社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 乳腺センター長、
日本外科学会専門医、日本乳癌学会評議員・専門医、がん治療認定医

関東支部の皆様はじめまして。医学部医学科同窓会長の蔵下と申します。昨年と今年の琉球大学同窓会総会において、高山厚子関東支部長とお会いする機会を得て、また今回は宮城重哲関東支部事務局長のお取り計らいにより、この芭蕉誌に投稿させていただくことになりました。宜しくお願い申し上げます。

さて、医学部医学科は昭和62年に医学科第1期生が卒業して以来、平成26年3月の第28期生の卒業をもって卒業生が2700名余りとなりました。このうち約半数が沖縄県内で活躍し、現在、沖縄県医師会会員の4割以上を琉大卒業生が占めています。医学科同窓会は平成5年に設立され、現在全国に6つの支部があります。このうち関東にある東日本支部は、本部同窓会が設立される2年前から活動を開始し、現在は玉元弘次支部長のもと、定期的に支部会が開催されております。

今年5月には平成3年卒の垣花学氏が、同窓生として初めて母校医学科の教授(麻醉科学講座)に就任するという我々同窓生にとって大変うれしい話題がありました。7月に行われました第22回医学科同窓会総会、教授就任講演会、祝賀会を兼ねた懇親会には、琉球大学同窓会から仲門勇市副会長と宮城事務

局長にご出席していただきました。深く感謝申し上げます。来年4月に琉球大学医学部付属病院 再生医療研究センターという施設が医学部内に設置されることになっており、宮城事務局長には再生医療コーディネーターとして学外から医学部との関わりを持っていただいております。

さて、話はがらりと変わります。私の通っていた高校は旧首里キャンパスのすぐ近くにあります。私の高校時代にはちょうど西原キャンパスに移った後で、そこには使われなくなった校舎が残っているだけでしたが、龍潭池、弁財天堂、守礼の門など首里キャンパス時代の先輩方が見ていたであろうと思われる、旧琉大周辺の同じ景色を見ながら高校生活を送りました。大学入学当時、新キャンパスに学生寮がまだ完成していなかったこともあり、当蔵の男子寮だけはまだ使われていて、入寮していた同級生らとそこで麻雀をしたのは懐かしい思い出です。

最後になりましたが、琉球大学同窓会ならびに関東支部会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、また琉球大学同窓会と医学科同窓会とが今後、更に密に交流させていただくことをお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

沖縄三線音楽
クイチャーパラダイス

代表 仲本 光正

TEL 03-3982-2446
FAX 03-3982-2644

〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-28-1 タクトTOビル606号室

キヤクタスオキナワ英語教室

代表 瑞慶覧 長敏
Zukeran Chobin

〒901-1206 沖縄県南城市大里字仲間1021-5
chobinzuk@gmail.com



トピック

医学部医学科の同窓会が 今年も盛会裡に開催

琉球大学医学部医学科の本年の同窓会は、7月20日(日)に宜野湾市の「ラグナガーデンホテル」で開催され、約100名の参加し、盛会であった。第22回通常総会の後、講演会と懇

親会も催された。

講演会は、医学科を卒業後、琉大麻酔科で研修し、アメリカで麻酔科医として活躍されている金城さくら先生の講演「アメリカにおける臨床医学」と、同窓生で初めて医学科の教授に就任された垣花学先生の講演「研究からSerendipity」の二題。

医学科の卒業生は、今年も、4月1日に沖縄県保健医療部保健衛生統括監に

國吉秀樹先生が就任、5月24日に千葉県船橋市医師会会長に玉元弘次先生が就任、7月1日に独立行政法人国立病院機構琉球病院の院長に福治康秀先生が就任するなど、多方面で活躍中である。

同窓会関東支部は、今後医学部医学科同窓会との連携を強めていく予定である。(本誌3頁、12頁をご参照)



トピック

ホームカミングデー

琉球大学では、今年から「ホームカミングデー」を実施する。第1回となる今回は9月27日(土)に、琉大祭に合わせて開催される。「琉球大学の『今』を知っていただくことを目的として、ホームカミングデーを企画しました。琉球大学一同、すべての卒業生・修了生をお待ちしています」とのこと。沖縄に滞在中で時間のある方はぜひご参加ください。詳しくは大学のホームページで



トピック

牛歩の歩みで学び続け、 社会に役立つ人間に 幸喜徳子さん 叙勲祝賀会

2014年春の叙勲で旭日小綬章(警察管理運営功労)を受章した幸喜徳子さんの受章祝賀会が7月19日、那覇市のホテル日航那覇グランドキャッスルで開かれた。会場には各界から多くの関係者が駆けつけ、幸喜さんの叙勲を祝った。(中略)

友人や団体から花束を贈呈された後、マイクの前に立った幸喜さんは「今日の感激をいつまでも忘れずに、今後は牛歩の歩みではあっても学び続け、社会の一員として役立つ人間になればいい」とあらためて肝に銘じました」と謝辞を述べた。

幸喜会長の叙勲パーティの記事と写真は『オキナワグラフ』のご好意により同誌本年9月号より転載させていただきました。
『オキナワグラフ』は県内で発行される唯一のグラビア月刊誌です。
定期購読はウェブサイトから
お申ください。

オキナワグラフ

検索

EE 有限会社 エシマエンジニアリング

代表取締役 **江洲 良一**
(S43年 電気学科卒)

東京都足立区千住中居町18-10 野中ビル
Tel: 03-3879-9723
メール: eshima-eng@nifty.com

新東洋機械工業(株)

(化学工業薬液用ポンプメーカー)

常務取締役 **宮城 調春**
(短大部2期・機械学科卒)

埼玉県越谷市谷中町2-49-1
TEL: 0489-65-8511 Fax: 0489-65-8520



されどわれらが“草野球”の日々

琉球大学草野球同好会「うちなあメッツ」

今となってはもうほとんどの記憶がおぼろげになっているのだけれど、仲間が集まって酒が入ると、昔のことで話は尽きない。話題は、大学のころの野球のことである。卒業以来、同じパターンの繰り返しであるが、いつまでも飽きない。われわれは琉球大学草野球同好会「うちなあメッツ」の1期生である。

草野球同好会が結成されたのは1976年6月（もうすぐ40年！）。設立総会に参加したのは2年次と1年次の学生のみで19名。そこでは、役員選出のほかに、チームの名前を「うちなあメッツ」にすることや先輩後輩の上下関係を持ち込まないこと、練習は希望者のみの参加でいいことなど、全体的に“ゆるい”取り決めがなされた。一つ、奇異な決議をした記憶がある。創立時のメンバーが卒業する時にこの同好会も解散しよう、というものだ。若さゆえの不遜とロマンチズムであった。

われわれ1期生の卒業を前に、後輩が「球誌」という立派な機関紙を作ってくれたが、それを紐解くと、結成3カ月後から毎月2試合、飽くことなく野球をしている。野球好きが集まっているのだから当然と言えば当然ではある。初期のライバルチームは

「宮古島ヤンキース」であった。対戦相手がいないときは紅白試合もよくやった。また、チャリティ野球大会や体育祭、琉大祭にも出場している。最も重要なイベントは夏の合宿（今帰仁）と冬の忘年会であった。

当時のメッツで、野球の試合と同じくらいに重視されていたのが試合後の宴会である。主に男子寮のサークル室で、粗末な酒と肴で深夜まで口角泡を飛ばして議論したものだ。私なんぞは、小難しいことを言っては論理が破綻し、最上級生にもかかわらずよく後輩にやりこめられた。それにも懲りず、次の宴会で挽回すべく、できるだけ誰も知らないような知識を収集したものである。この宴会こそが大学時代の一番の知の鍛錬の場であった。

さて、昨年から、われわれメッツのOBもできるだけ関東支部同窓会に参加し旧交を温めることにしているが、そこで数年前までメッツの現役だった後輩に会った。現在も「うちなあメッツ」は琉大で盛況なクラブであるという。創設メンバー一同は感激した。われわれの青春は今も健在なのだ！

（文責：金城利光 1975年法政学科入学）



第1回目の忘年会(1976年)



琉大グラウンドで(1977年)



今帰仁での夏の合宿(1977年)

中島信一郎法律事務所

弁護士 中島 信一郎

(1975年法政学科入学)

住所：〒104-0061 中央区銀座4丁目9-6
陽光銀座三原橋ビル6階
電話：03-6226-2200

2013年度決算報告 & 2014年度予算案

単位:円

(2013.4.1 ~ 2014.3.31) 決算報告書

来期(14年度)計画

収支報告書		期首予算	差額	摘要
収入				
前期繰越	758,522	758,522	0	
総会費	253,900	360,000	-106,100	出席者(60名)
年会費	151,900	100,000	51,900	
寄付金	33,000	20,000	13,000	
組織強化金(本部より)	100,000	100,000	0	
広告料収入	50,000	50,000	0	
受取利息	57	0	57	
合計	1,347,379	1,388,522	-41,143	
支出				
事務用品費	4,950	40,000	-35,050	
通信費	53,394	100,000	-46,606	
名簿作成費	0	0	0	
会報作成費	200,180	140,000	60,180	
総会費	255,445	360,000	-104,555	泡盛寄付他
会議費	80,593	50,000	30,593	
雑費	0	3,000	-3,000	
次期繰越	752,817	695,522	57,295	
合計	1,347,379	1,388,522	-41,143	

来期予算	摘要
752,817	
240,000	60名
100,000	100名
30,000	
100,000	
50,000	
0	
1,272,817	
10,000	
60,000	
0	
90,000	
300,000	
50,000	
3,000	
759,817	
1,272,817	

貸借対照表(12.3.31現在)			
資産の部		負債・繰越金の部	
普通預金	752,817	未払金	
未収金	0	次期繰越金	752,817
合計	752,817	合計	752,817

2014年度 役員名簿

支 部 長	高山 厚子	初等教育学科	1966年卒
副支部長	仲里 朝幸	数学科	1960年卒
副支部長	崎浜 浩一	機械工学科	1965年卒
副支部長	島袋 朝順	電気工学科	1968年卒
副支部長	江洲 良一	電気工学科	1968年卒
副支部長	仲本 光正	経済学科	1981年卒
副支部長	名嘉 盛光	体育学科	1974年卒
副支部長	中島 信一郎	法政学科	1972年入
事務局長	金城 利光	法政学科	1972年入
事務局次長	三村 邦彦	電情工学科	1992年卒
事務局次長	糸数 昌史	電気情報工学科	1991年卒
事務局次長	永田 幸江	法政学科	1995年卒
芸能部次長	比嘉 千都代	心理学科	1968年卒
総務部長	池田 正人	経済学科	1990年卒
会計部長	仲宗根 南子	総合社会システム学科	1999年入
会計監査	朝倉 明	海洋学科	1984年卒
顧問	渡久山 長輝	物理学科	1960年卒
顧問	桑江 良奉	英文学科	1950年卒
顧問	中島 政彦	教育学科	1954年卒
顧問	喜友名 朝昭	商学科	1961年卒
顧問	砂川 義信	法政学科	1964年卒
顧問	重田 辰弥	法政学科	1959年入

2013年度活動報告

- 第1回幹事会 2013年11月15日(金) 18:30 ~
- 第2回幹事会 2014年1月11日(土) 18:30 ~
- 第3回幹事会 2014年3月13日(木) 18:30 ~
- 第4回幹事会 2014年5月15日(木) 18:30 ~
- 平成26年度同窓会本部総会&懇親会 出席
2014年7月5日(高山支部長&宮城事務局長)
- 第5回幹事会 2014年7月10日(木) 18:30 ~
- 平成26年度医学部医学科同窓会 出席
2014年7月20日(宮城事務局長)
- 第6回幹事会 2014年8月7日(木) 18:30 ~
- 第7回幹事会 2014年9月11日(木) 18:30 ~
- 総会・懇親会 2014年10月18日(土) 12:00 ~ 15:00

この島は元気です

久米島の久米仙 www.k-kumesen.com

本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字江城2157 TEL.098-985-2276(代)

宮城 悟
(法政学科1979年卒)

国際心相科学学会 会長
〒111-0031 東京都台東区千束1-6-1-905
Tel: 03-5808-3639

事務局からのお願い

総会・懇親会へのご出席

琉大の出身者で関東にお住まいの方は、全て同窓会関東支部の会員です。毎年、10月の第3土曜日の総会・懇親会にはお気軽にご出席下さい。かつての学科やサークルの仲間と会う機会としてご利用いただき、同窓会を盛り上げて下さい。

ご寄付のお願い

関東支部は、会員相互の懇親や情報交換だけではなく後輩たちの社会進出にも貢献したいと考えています。その為の資金として、今年から皆様にご寄付をお願いすることにしました。ご協力のほど宜しくお願いします。

振込先(郵便局口座) 郵貯銀行から振り込む場合：(記号) 10500 (番号) 52592781
他金融機関から振り込む場合：(店番) 058 (預金種目) 普通預金(口座番号) 5259278

琉球大学同窓会 関東支部

支部長：高山厚子 (初等教育学科 1962年入学)

事務局長：金城利光 (法政学科 1975年入学)

連絡先：メール：shigenori_miyagi@yahoo.co.jp

事務局住所：〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9-6

陽光銀座三原橋ビル6階

(中島信一郎法律事務所内) Tel: 03-6226-2200

ホームページ：http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/dousoukai/kantou/web/

芭蕉誌 第14号 琉球大学同窓会関東支部会報誌 【禁・無断転載】

発行人：宮城重哲(法政学科 1972入学)

発行日：2014年10月18日

編集人：金城利光(法政学科 1975入学)

発行所：琉球大学同窓会関東支部事務局



沖縄料理 琉の介

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-7-2

後藤ビルB1F

TEL: 03-3252-5528

URL <http://ryunosuke-okinawa.com>



くれすと

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-10

松栄ビル6F

TEL: 03-3254-0635

URL <http://pub-crest.com>

くれすと



貸会議室

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2

神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5577-5717

URL <http://mediaone-kaigi.com>



株式会社メディア・ワン

代表取締役社長



一般社団法人
関東沖縄経営者協会
Kanto Okinawa Management Association

会長

仲松 健雄



東京沖縄県人会

副会長

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2 神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5297-4601 FAX: 03-5297-4611 URL <http://media-1.co.jp> E-mail: t-nakamatsu@media-1.co.jp